

米 山 峰



発行日 平成 23 (2011) 年 2 月 (第 35 号)

発行者 (株)柏崎マリン開発 (指定管理者)

〒945 - 0854 新潟県柏崎市東の輪町 8 - 18

TEL : 0257 - 21 - 1255 FAX : 0257 - 21 - 1670

電子メールアドレス info@kashiwazaki-marine.jp

ホームページアドレス http://www.kashiwazaki-marine.jp

※発行された会報はマリーナのホームページからもご覧いただけます。

お知らせ

■平成23年度の更新手続きについて

同封しております平成23年度の更新申請書には提出期限(3/13)があります。継続利用を希望される方は、同封の利用ルールをよくお読みの上、お早目の手続きをお願いいたします。また、今回利用料金の一部を改訂し、前回同様『マリーナ利用者アンケート』も同封しておりますので、内容をご確認ください。

アンケートについては、更新書類と共にマリーナまでご返送くださいますようお願いいたします。

なお、4月以降マリーナに艇を保管されない場合や、住所の変更(市町村合併によるものは該当しません)、または艇の入替を検討されている場合には各種手続きが必要となりますので、その旨をマリーナにご連絡ください。

■冬期間の水道の使用制限について

凍結による水道管の破損を防ぐため、**休港日と時間外**(17:30~8:30)はハーバー各所への給水を止めさせていただく場合がありますのであらかじめご了承ください。その場合元栓を止めてある「小型栈橋上の水道」以外の場所に関しては、タンクに**貯水している分だけ**は多少使用することが可能ですので、節水を心がけた上でご使用下さい。



(※タンクが空になれば水は出なくなります)

期間中ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

■「応急手当講習会」のご案内

下記内容にて「応急手当講習会」の開催を予定しております。

講習会では、心肺蘇生法、止血法、気道異物除去法などの知識と技術の習得に加え、実際に **AED**(自動体外式除細動器)を使用した講習も行われます。

講習終了後には、柏崎市消防署より『**普通救命講習 修了証**』が交付されますので、この機会にぜひ本講習に参加し、応急手当の知識と技術を身に付けてください。

- 日 時 平成23年4月3日(日) 午後1時~午後4時まで(3時間)
- 場 所 新潟県柏崎マリーナ 2階 会議室
- 定 員 20名(定員になり次第締め切らせていただきます。お早めにお申込み下さい)
- 講 師 柏崎市消防署 救急係 様 □ 受講料 無 料

※講師の都合により日程を変更する場合があります。事前にご確認ください。

【主 催】 柏崎マリ-オーナーズ クラブ、柏崎外洋ヨットクラブ、新潟県柏崎マリーナ

【お申込み・お問合せ先】 新潟県柏崎マリーナ



■プレジャーボート保険のおすすめ

柏崎マリーナでは、「**全国プレジャーボート安全会**」のプレジャーボート責任保険および総合保険の取次ぎを行なっております。

万一に備え、プレジャーボートに賠償責任保険をつけることは今やマナーでもあり、ご自身を守る手段です。「**保険は安心の第一歩です!**」。多くの皆様が保険に加入することによる“**団体契約割引**”の適用や、自動車保険のような“**無事故割引**”など各種お得な割引制度もございますので、この機会にご加入をご検討くださいますようお願いいたします。(詳しくは、マリーナまでお問合せください)

■「ジャパンインターナショナルボートショー2011」の開催

2月の26日・27日の2日間、新潟市では「第21回新潟ボートショー」が開催されました。一方、横浜では『ジャパンインターナショナルボートショー』が下記の日程で行われます。

メイン会場の「パシフィコ横浜」、大型ボートが並ぶ「特設フローティング」、マリンアトラクションが行われる「臨港パーク」、体験乗船・見学会の「ぷかり棧橋」、そして「中古艇フェア会場」など、見て、触れて、体験する一大ボートショーです。

2011.3/3(木).4(金).5(土).6(日).	
開催時間 10:00 - 17:00 ※3月3日(木)は11:45 開会式 / 12:00より一般開場	
会場 パシフィコ横浜、および周辺	
入場料 一般(高校生以上) 1,000円 / 中学生以下は無料	

マリーナ修理工場だより

■船のアノード（^{でんしょく}電蝕防止用亜鉛または^{ぼうしょく}防蝕亜鉛）について

皆様の愛艇に取付けられているアノード（防蝕亜鉛）はきちんと効果を果たしていますでしょうか？アノードとは、ドライブやプロペラなど船の金属部分付近に取付けられた亜鉛素材の部品で、海中に露出する船の金属部分を“電蝕”から守る役割を果たしています。

※電蝕とは、海水を電解液としてドライブやプロペラに使用されているステンレスや鉄などの異種金属間に電流が流れ、よりイオン化傾向の高い金属（この場合は亜鉛）の方が電気分解によって化学的変化を起こし、腐蝕される現象のことをいいます。

海水で使用される船舶の多くにこの亜鉛製のアノードが使われているのは、ステンレスや鉄などの金属に比べ、亜鉛がよりイオン化傾向の高い、言い換えれば腐食する側となってくれる金属だからです。（その他の防蝕素材としては、状況により亜鉛よりもイオン化傾向の高いアルミやマグネシウムを使用する場合があります。）

すなわち、アノードが腐食してくれた方が防蝕効果を果たしていると言え、逆に“アノードがほとんど腐蝕していないとき”は、防蝕しようとする金属との結線が悪く、せっかくアノードを付けているにもかかわらず腐蝕が進行している疑いがあります。

出港の増えるこれからの時期、事前にご自分の船に付いているアノードの状況をご確認ください。

【アノード交換のお勧めポイント】

- ・腐蝕消滅・磨耗している
- ・何年も前から使用しているが消耗していない
- ・表面が腐蝕生成されたもので覆われている
- ・船底塗料などでアノードを塗装してしまった
- ・1年以上海上係留する



矢印の部分がアノードです。船の金属部が海水に露出した付近に付いています。



これが電蝕し消耗したアノードです。こうなったら早めの交換が必要です！

アノードは決して高価な部品ではありませんので、定期的な交換で大切な部分の腐蝕予防をしましょう。防蝕効果が低下したまま使い続けると、機関内外部及び周辺機器の腐蝕を進行させることにつながりますのでご注意ください！交換についてのご相談は工場スタッフにお尋ねください。